

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年1月24日時点)

➤ **ウクライナ軍の東部(ドネツク州)及び南部(ザポリヅジャ州)における攻勢が停滞する一方、露軍は、東部(ドネツク州及びハルキウ州)で攻勢を強めるとともに、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を強化している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT8月18日)

: 死者約15万人 (「ウ」軍総司令官11月1日)

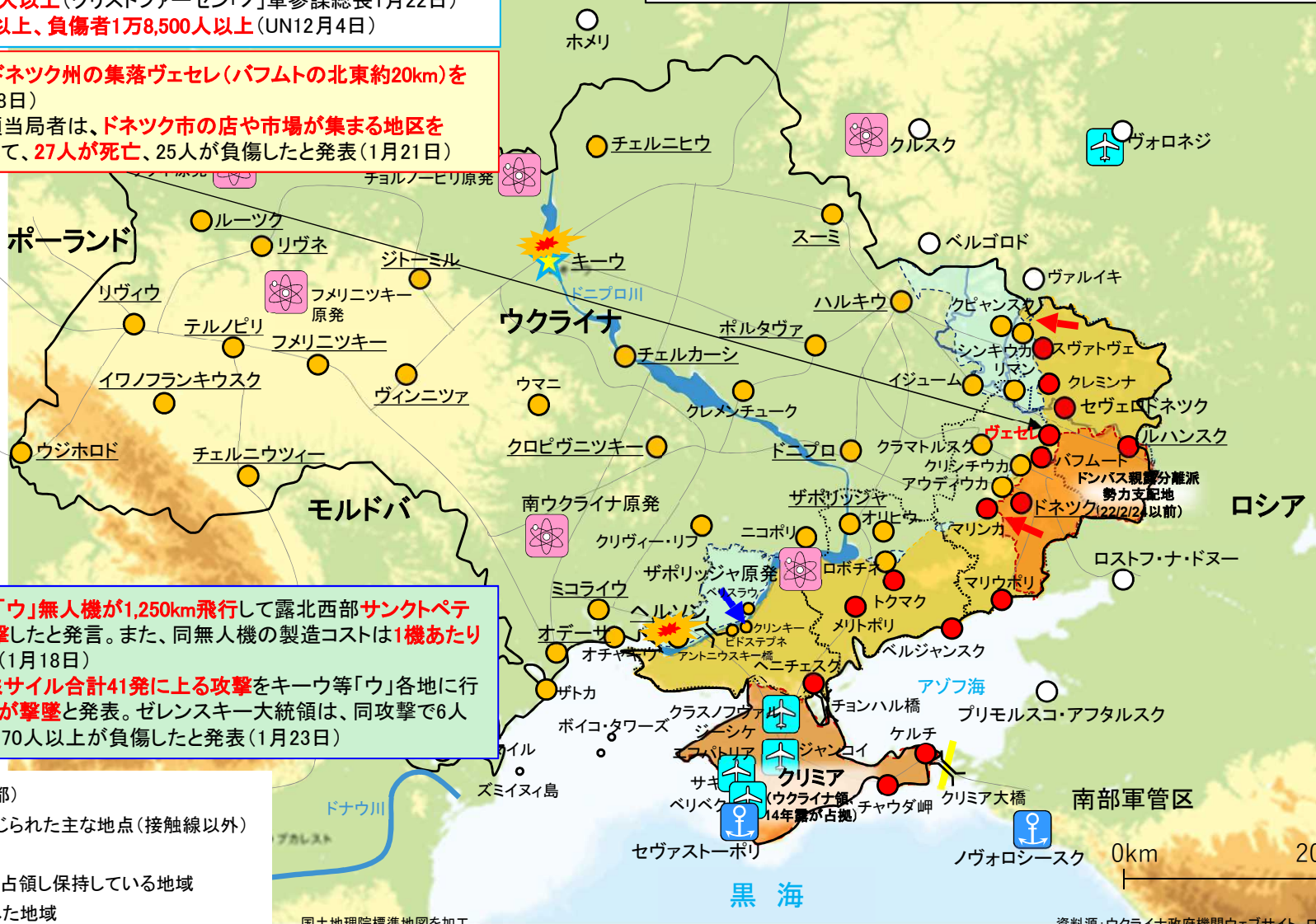
「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT8月18日)

: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN12月4日)

- 露国防省は、露軍がドネツク州の集落**ヴェセレ**(バフムトの北東約20km)を制圧したと発表 (1月18日)
- ドネツク州の露側占領当局者は、**ドネツク市の店や市場が集まる地区を「ウ」軍が攻撃したとして、27人が死亡、25人が負傷したと発表** (1月21日)

- 「ウ」国防省情報総局長は、北朝鮮が大量の砲弾を露に供与したことで、露軍が息を吹き返しているとした上で、現在**北朝鮮が露への最大の武器供給者**となっている旨指摘。また、現在の戦況について、「ウ」軍が今後「動員なしではやっていけないとは思わない」とした上で、戦場における**「ウ」軍の人員の「不足は明白だ」と発言** (1月21日)



- 「ウ」戦略産業相は、「ウ」無人機が**1,250km飛行して露北西部サンクトペテルブルクの標的を攻撃した**と発言。また、同無人機の製造コストは**1機あたり350ドル**である旨指摘 (1月18日)
- 「ウ」空軍は、露軍が**ミサイル合計41発に上る攻撃**をキーウ等「ウ」各地に行い、うち**21発を「ウ」軍が撃墜**と発表。ゼレンスキー大統領は、同攻撃で6人が死亡、子どもを含む70人以上が負傷したと発表 (1月23日)

- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 🟡 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- 🟢 ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等